

新型コンパクト SUV『エクスフォース』が2024年「ASEAN NCAP」で最高評価となる5☆を獲得

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、新型コンパクト SUV『エクスフォース^{*1}』が、アセアン地域の新車を対象に安全性能を総合評価する「ASEAN NCAP^{*2}」において、最高評価となる5☆（ファイブスター）を獲得したことを発表しました。

三菱自動車は、交通事故ゼロのクルマ社会に向けた安全理念を掲げ、安全技術の開発・普及と、交通安全教育の2つの側面から取り組みを進めています。



新型『エクスフォース』

『エクスフォース』は、衝突時のエネルギー吸収とキャビンの変形抑制を両立させた衝突安全強化ボディ「RISE^{*3}」に加え、6つのSRSエアバッグ^{*4}を採用することで衝突安全性能を確保。さらに、衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM^{*5}] や後側方車両検知警報システム [BSW^{*6}]、後退時交差車両検知警報システム [RCTA^{*7}]、オートマチックハイビーム [AHB^{*8}] などの先進安全装備^{*4}によって、高い予防安全性能も備えています。

2023年にインドネシアで世界初披露した『エクスフォース』は、「Best-suited buddy for an exciting life（毎日を愉しく過ごすことができる頼もしい相棒）」をコンセプトに、アセアン地域での使われ方にこだわって開発した5人乗りのコンパクト SUVです。スタイリッシュかつ力強い本格的な SUV デザインを特長とし、取り回しの良いコンパクトなボディサイズでありながら、広々とした居住空間や多彩な収納スペースなどの快適性・実用性を両立。さらに、荒れた路面や冠水路などさまざまな天候や路面において、安心・安全の走破性を実現します。

2023年11月にインドネシアで販売開始後、本年3月にベトナム、7月にフィリピンなどのアセアン地域、中南米やアフリカで発売しており、今後は中東や南アジアにも順次展開を拡大する計画です。

- *1：一部の国・地域では『アウトランダースポーツ』として販売
- *2：New Car Assessment Program for Southeast Asian Countries の略称
- *3：Reinforced Impact Safety Evolution の略称
- *4：装備はグレードによる
- *5：Forward Collision Mitigation system
- *6：Blind Spot Warning
- *7：Rear Cross Traffic Alert
- *8：Automatic High Beam

以上